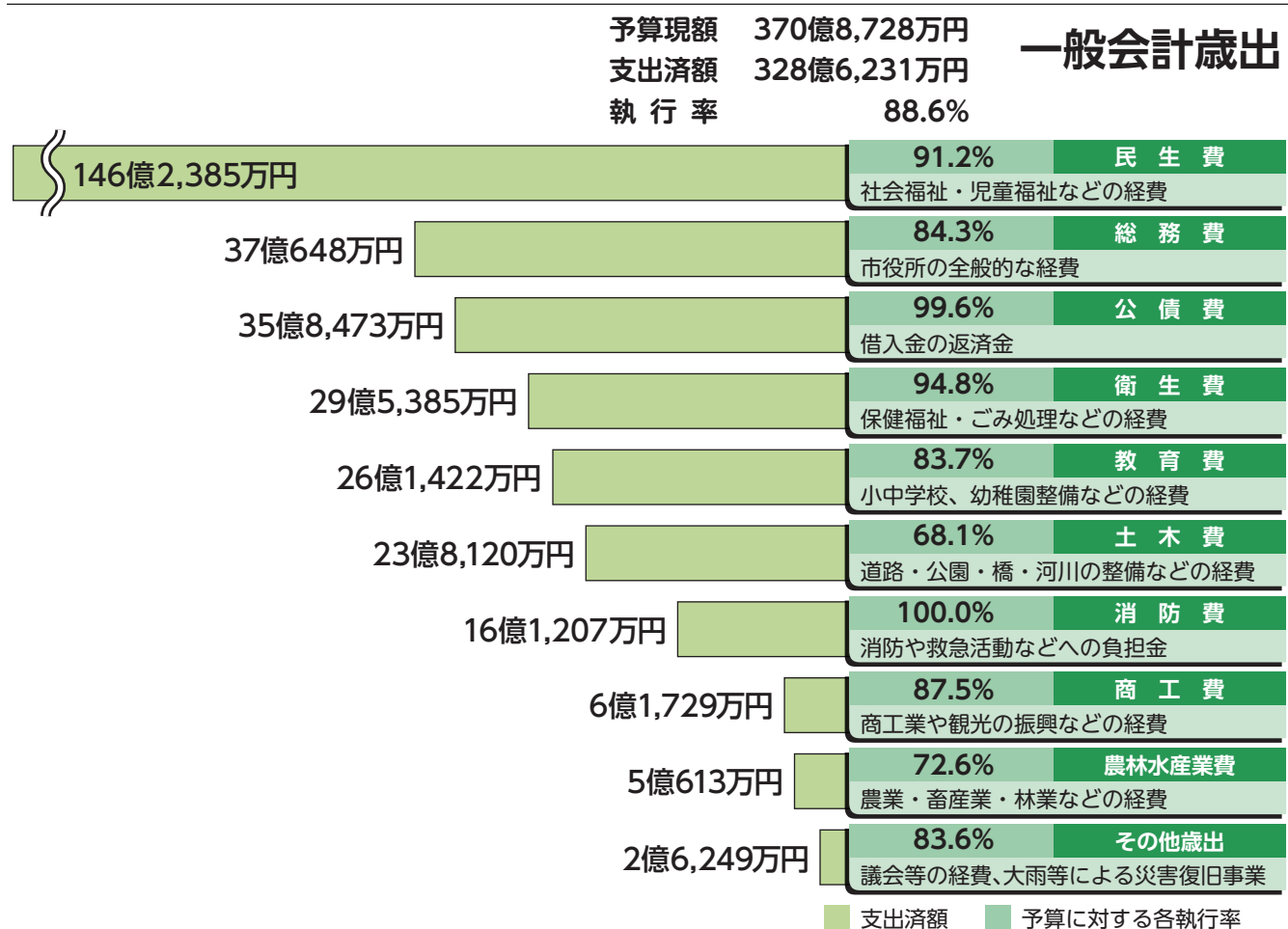


一般会計の最終予算額は当初予算より31億1,728万円増の、370億8,728万円（令和6年度からの繰越予算10億3,269万円含む）となり、令和6年度と比べ10億6,243万円の減となりました。執行状況は、歳入が336億5,227万円（現計予算に対する執行率90.7%、以下同）、歳出が328億6,231万円（88.6%）となっています。

特別会計の最終予算額は当初予算より4億7,153万円増の、206億2,817万円となり、令和6年度と比べ、4億3,477万円の増となりました。執行状況は、歳入が194億4,020万円（94.2%）、歳出が185億258万円（89.7%）となっています。



公営企業会計

会計名	区分	予算額	収入および支出済額	比率
下水道業	収益的収入	13億9,380万円	9億1,895万円	65.9%
	収益的支出	13億7,469万円	4億1,515万円	30.2%
	資本的収入	27億5,804万円	21億256万円	76.2%
	資本的支出	35億2,078万円	25億600万円	71.2%
農業集落排水事業	収益的収入	4億3,629万円	1億9,137万円	43.9%
	収益的支出	4億2,819万円	1億1,628万円	27.2%
	資本的収入	4億3,321万円	1億4,671万円	33.9%
	資本的支出	5億1,360万円	2億744万円	40.4%

市債の状況

区分	現在高	
一般会計	300億1,016万円	
第三セクター等改革推進債	65億3,694万円	
臨時財政対策債	120億7,115万円	
その他	114億207万円	
公営企業会計	62億4,145万円	
下水道事業債	公共下水道事業	47億5,113万円
	農業集落排水事業	14億9,032万円
合計	362億5,161万円	

公営企業会計

使用料金の収入などの収益により維持される「独立採算」を原則とする会計

公営企業会計の会計方式

収入支出全ての資産の増減を、発生した時点で記帳する複式簿記を採用

収益的収支

下水道使用料や施設管理等の経営活動に関する収入・支出

資本的収支

経営活動に必要な施設の整備や機器の調達等、資産形成に関する収入・支出